秋高NOW

豊かな歌声を創る

合唱部

合唱部は、秋高祭でのステージや各種大会に向けて日々活動しています。令和6年度時点で部員2名と少人数ですが、自分たちにできることを考えて努力を重ねています。

私たちの活動は、大会に向けた練習がメインです。定番の合唱曲からラテン語の聖歌、J-POPの合唱アレンジまで幅広い種類の歌に取り組んでいます。それぞれにあった歌い方や、雰囲気、表情を工夫することで豊かな表現になるよう心掛けています。

昨年度、私たちは少人数ゆえに単独でのコンクール出場ができませんでした。そのため、秋田北高校音楽部の皆さんと合同でコンクールに出場させていただきました。本番が近づくと毎日合同練習を行い、何度も声を重ねました。回を経るごとにハーモニーが形作られていくことが分かり楽しかったです。練習の結果、全日本合唱コンクール秋田県大会とAKITAヴォーカル・アンサンブル・コンテストでは金賞をいただくことができました。また、昨年度は、全国の舞台である全国高等学校総合文化祭合唱部門に出場しました。全国の仲間の歌声を聞いて学び取るだけでなく、来年度の秋田県開催に向けて、運営する側の視点で大会を見たことで多くの学びがありました。

第39回AKITAヴォーカル・アンサンブル・コンテスト（2025年1月26日 アトリオン音楽ホール）

今後の目標は、まずは部員集めです。先輩方が繋いできたこの合唱部を、私たちの代でなくすわけにはいきません。いずれは秋田高校単独でコンクールに出場できるような部活動を目指し、頑張っていきたいです。

3年 部長　石井　咲（さき）

一球一球真摯に

ソフトテニス部

ソフトテニス部は、大会で一つでも多く勝利するために、心技体全てを鍛えることを意識して日々練習に励んでいます。

この競技では、技術や体力だけでなく思考力や判断力が勝利するために必要になってきます。そのため、練習の時から試合のイメージを持ってプレーしたり、ミーティングで戦術やゲームの進め方などの様々な情報の共有をしたりしています。また、身体の構造や心理状態について深く知ることで、効率の良い体の動かし方や相手を欺く体の使い方をできるようにしたり、試合中の相手との駆け引きや自分達のメンタルコントロールに活かすことができています。

昨年度は団体戦において、全県インドア大会で3位に入賞することが出来ました。これはチーム全体が同じ目線で切磋琢磨して来られたからだと思います。しかし、ここで満足せず、上位にいることが当たり前のチームになり、上位の大会でも勝てるようにするための確実な実力をつけることが必要です。そのために、練習の質をチーム全員で高めたいです。

私たちは監督、保護者の方々、先輩方、そしてソフトテニスに関わる多くの方々の支えによって活動できているということを常に忘れずに感謝の気持ちを持ち、その感謝をプレーで表現していきたいです。

3年 主　将　大山　穂高（ほたか）
3年 副主将　大嶋　悠斗（はると）

R6全県インドア大会にて

秋田高、全国高校囲碁で準V

男子団体、県勢最高成績

第19回全国高等学校囲碁選抜大会の男子団体に、大将高山皐（こう）（2年）、副将渡辺太陽（1年）、三将土門真鳳（まほう）（1年）のメンバーで出場しました。東北予選は優勝で通過しており、確かな手応えをつかんでいました。また、対局だけでなくAIを用いた研究も重ねたことで、地方予選を勝ち抜いてきた強豪校の中でも上位で戦えるという自信をつけてきました。

団体戦は大将、副将、三将の三人の勝敗で勝負が決します。一回戦の相手は優勝候補と目されていた広島学院高校で、夏の全国大会では敗れていました。苦しい戦いでしたが、積み上げてきた努力で逆転勝利し、夏の雪辱を果たしました。この一勝で流れに乗り、僅差の勝利を重ね、県勢男子初の準優勝という望外の結果を収めることができました。心強い後輩二人に支えられての準優勝であり、とても嬉しく思います。

今大会、囲碁部をサポートしてくださった顧問の樫尾先生、応援してくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。囲碁部は今年の夏に向けてさらに挑戦を続けます。応援よろしくお願いします。

3年 主将　高山　皐

発行者／秋田県立秋田高等学校同窓会　秋田市手形字中台1番地
電話 018−832−9553　FAX 018−832−9588
印　刷／秋田協同印刷株式会社